



くしもと

議会だより

Vol. 42

2025年3月



議長挨拶	P2
9月議会定例会報告	P3～P4
12月議会定例会報告	P5～P6
決算審査特別委員会	P7
常任委員会の報告	P8～P9
一般質問	P11～P22
研修会の報告	P23
おしらせ	P23
議会の動き・議長公務日誌	P24

KN ROOKIES の皆さん

【発行】和歌山県串本町議会 〒649-3592 和歌山県東牟婁郡串本町サンゴ台690番地5
【編集】議会広報広聴特別委員会 串本町役場 TEL.0735-67-7261

町民の皆様へ

近年において、新型コロナウイルス感染症や大地震などの自然災害による未曾有の危機に直面し、社会全体が大きな変革を求められてきました。

そのような中、私たち議会も、議員一人ひとりが町民の皆様の代表としてその責務を果たし、町民の声を議会に反映させることを「最優先」に、様々な「課題解決」に向け取り組んでまいりました。

議会は、合議制のもとに運営され、全議員が意見を出し合い、政策を議論し、町全体の利益を考えた「意思決定」を行う機関です。この役割をより効果的に果たすため、議会基本条例を制定し、以下のような議会改革を進めています。



議会改革への取り組み

- ・議会報告会と一般会議の開催
町民との対話を通じて、意見を直接伺い、町政への反映を強化しました。
- ・議会だよりの充実
議会活動の透明性を高めるため、内容をわかりやすく整理し、情報発信を強化しました。
- ・ホームページの会議録検索システムの導入
町民が議会記録を容易に検索し、閲覧できる環境の整備を行いました。
- ・一般質問の録画映像のインターネット配信
一般質問の録画配信により、それぞれの議員の活動等を公開しました。
- ・議会機能の充実
執行部の「反問権」の活用による議論の深化と、議員定数の見直しなど、効率的な議会運営の実現を行いました。

未来への想い

今私たちは、「不確実性の時代」とも呼ばれる変化の激しい社会で生活しています。このような時代だからこそ、行政と議会は、「良き競争相手」として政策をチェックし、時には「政策を競う」車の「両輪」の関係性を重視し、町民の皆様の信頼に応えられるよう、未来を見据えた議論と政策立案が求められます。

これからも町民の皆様との信頼関係を大切にしながら、議会が町全体の発展に寄与する場であり続けることを願ってやみません。

これまでの議会活動へご理解とご協力をいただきました町民の皆様に、心より感謝申し上げますとともに、今後とも、町のさらなる発展に向けて皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。

串本町議会議長 鈴木 幸夫

《各委員会のメンバー紹介》

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
氏名	北地 稔	長脊 守	沼谷 美次	橋爪 和雄	仲江 孝丸	角 寛	吉村聡一郎	五十川清紀	芝山 定史	水口 崇	鈴木 幸夫	清水健太郎	島野 靖
常任	総務産建	○				☆		○		○	※	○	★
	文教厚生	☆		○	○		★		○		※		
	議会運営			○	○	☆	○	★	○		※		○
特別	広報広聴	○			○	○	★				※	○	☆
	決算審査			○	★		○	☆			※	○	○
一部事務組合	後期広域						○						
	紀南環境	○					○						
	衛生組合			○		○	○		○			○	○

★委員長 ☆副委員長 ※議長は一部事務組合以外の全ての委員会に出席

スマートフォンや
タブレットで
QRコードを読み
取ってね



議会定例会は、開会中いつでも傍聴することができます。また、役場ホームページでは一般質問の映像も随時更新しています。議会だよりの見ることができますので、ぜひホームページにアクセスしてみてください。



議会のページ



第3回定例会 (9月)

第3回定例会
(9/9～9/26)

報 告	1 件
人 事	3 件
契 約	2 件
条 例	10件
補正予算	7 件
決算の認定 (委員会付託分)	15件
発 議	2 件

※追加議案を含む

一般会計補正予算(第4号)5億2,848万8千円 及び(第5号)170万6千円を可決

歳入歳出予算総額は、121億9,775万1千円となり、
前年度同月比より約10億5,900万円増となっています。

主な歳入

■地方交付税	普通交付税	1億2,723万円
■県支出金	公立学校給食費無償化事業補助金	771万円
■繰入金	財政調整基金繰入金	▲6,395万円
■町債	過疎対策事業債(サンゴ台7号線改良事業分)	1億700万円

主な歳出

■総務費	財政調整基金積立金	1億6,317万円
■衛生費	病院事業会計繰出金	2億1,000万円
■商工費	串本町観光看板設置工事	126万円
■土木費	サンゴ台7号線改良事業	1億700万円

債務負担行為補正

- 指定ごみ袋購入費 限度額2,576万円(期限:令和7年度)
- 有田残土処分場整備工事 限度額1億2,000万円(期限:令和7年度～8年度)

議員報酬等条例及び町長等の給与条例の一部改正を可決

令和5年12月の町長からの諮問に基づき、串本町特別職報酬等審議会が報酬に関する審議を重ね、令和6年7月に答申が出されました。その結果を踏まえ、議会は審議を行い、条例の一部改正は賛成多数で可決されました。

令和5年度串本町歳入歳出決算を決算審査特別委員会へ付託

財政健全化判断比率

■令和5年度の収支状況

単年度収支 約9,500万円、実質単年度収支 約3億9,100万円の黒字計上

- ①実質赤字比率 } …………… 黒字のため該当なし
②連結赤字比率 }
③実質公債費比率 10.0%… 早期健全化基準の25.0%
を下回る
④将来負担比率 46.2%… 早期健全化基準の350.0%
を大きく下回る

■令和5年度の主要な財務数値（一般会計分）

- ①実質単年度収支 約3億9,100万円
②町債 約42億 400万円
③基金 約40億2,800万円

※②は交付税措置分を除いた実質的な額

以上のように、健全な財産運営が実施されています。

上記の公債費比率、将来負担比率の指標は、各自治体が破綻しないために設けられた指標で、財政健全化判断比率の基準内であれば、地方債発行に制限がかりません。

なお、議会（内部監査）などの決算監査において、指摘のみにとどまらず客観的な見識をもって財政内容を分析し、具体的な案を提示する必要があります。

ことば

- ・「単年度収支」とは、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた額
- ・「実質単年度収支」とは、財政調整基金への積立金と取崩額などを含んだ実質的な収支額
- ・「実質公債費比率」とは、借入金（町債）の返済率を表す国が定めた指標
- ・「将来負担比率」とは、通常見込まれる収入に対して、将来負担する実質的な借金がどの程度あるのか国が定めた指標

まとめ

厳しい社会変化に対応するため、串本町を取り巻く環境は、各自治体と同様に厳しい状況にあることから「行政のサービスの質」を下げることなく限られた財源を効率的・効果的に活用するために、議会は、財政等の監査機能をより充実し、相互牽制（そうごけんせい）を図り、住民の付託に答えるべき責務があります。

我々議員は、常に自己研鑽（じこけんさん）を行い、より監査能力の向上のため、日々努力する必要があると考えています。

「わかりやすい決算書」が町ホームページに掲載されました

この「わかりやすい決算書」では、財政健全化判断比率に影響がある令和5年度の決算内容が、とても分かりやすくなっています。〈借入金（町債）、貯金（基金）、収支など〉

町の財政を正しく理解していただけるものとなっておりますので、キーワード「串本町よくわかる決算」で検索して、ぜひご覧ください。

串本町の
わかりやすい決算書

令和5年度決算





第4回定例会 (12月)

第4回定例会 (12/2～13)	
報 告	2 件
人 事	1 件
契 約	1 件
財 産	4 件
条 例	7 件
補正予算	7 件
決算の認定 (継続審査分)	15 件
そ の 他	1 件
発 議	1 件

※追加議案を含む

一般会計補正予算(第7号)1億794万2千円 及び(第8号)105万3千円を可決

主な歳入

■国庫支出金	児童手当負担金	1,014万円
	道路メンテナンス事業補助金	1,181万円
■県支出金	児童手当負担金	250万円
■寄附金	ふるさとのまちづくり応援寄附金(企業版)	2,000万円

主な歳出

■総務費	ロケット推進事業	359万円
	住宅耐震化促進事業	284万円
■民生費	児童手当経費	1,515万円
	ひとり親家庭医療費	208万円
■衛生費	脳ドック委託料	14万円
■農林水産業費	林業担い手社会保障制度等充実対策事業補助金	119万円
■土木費	田子大橋長寿命化修繕工事	2,100万円
■災害復旧費	林道上野山佐部線災害復旧工事	180万円

令和5年度の全ての決算を認定

10月に行われた決算審査特別委員会において審議され、委員長より報告があった、令和5年度の全ての会計における決算の認定について、全会一致で可決となりました。

決算審査特別委員会の詳しい内容については、7ページをご覧ください。



満18歳未満の子どもの医療費無償化へ

子ども医療費の支給に関する条例の一部改正を可決しました。
これにより、令和7年4月1日から満18歳（到達以後最初の3月31日まで）の子どもの医療費が実質無償化されることとなりました。

都市公園条例の一部改正を可決

サンナンタンランドの多目的グラウンドと野球場について、串本町以外に在住の方の使用料が、来年度から値上がりとなります。

旧料金	午前	午後	1日		新料金	午前	午後	1日
野球場	7,500	8,500	15,500	➡	野球場	8,000	9,000	16,500
多目的グラウンド	7,500	8,500	15,500		多目的グラウンド	8,500	9,500	17,500



議案39件のうち賛否が分かれ採決となったもの

採決状況一覧表													
議案	北地	長脊	沼谷	橋爪	仲江	角	吉村	五十川	芝山	水口	鈴木	清水	島野
令和6年度串本町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○
令和6年度串本町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	※	×	○

※議長は採決には加わりません。

決算審査特別委員会

令和5年度の決算について、決算審査特別委員会が設置され、令和6年10月7日～9日と、15日の計4日間に渡り審査が行われました。

審査の結果、全ての会計において委員会で認定となり、12月定例会で委員長報告を行い、可決されました。

主な質問

Q. 里川の乗合タクシーはオンデマンド化されて以降、利用者がいない。

A. これから高齢化がさらに進み、車の運転が出来なくなる方のために残しておきたいもの。タクシーと同じように電話一本で利用できるものであるから遠慮なく利用してもらいたい。

Q. 土木費の空家対策で、申込み何件のうち12件が選ばれたのか。

A. 公募をかけ、予定15件のうち申請が20件あった。そのうち、危険空家として認定されたのが12件となった。

Q. 漁業担い手支援の研修、利用者は何名いるのか。

A. 研修受講中なのは6名で、全て独立型、自分で将来漁師になって漁業経営を行うという研修を受講している。

Q. 教育費の保護者学級開設委託料、9校分で23万8,000円は、どのような内容か。

A. 小学校9校に対して、各3万円の補助を行い、各校で、保護者に対する人権教育ということで、子どもさんと一緒に人権について考えていただく時間を設けている。

町長への総括質疑

1. 磯根再生事業について

一定の効果が認められるので、今後も続けていきたい。

2. 消防力強化について

消防士と設備のスキルアップを図っていきたい。

3. なんとん水等の販売強化について

ロケットの定番土産になるよう力を入れたい。

4. 20年後の財政見通しについて

10年スパンで長期総合計画を策定している。



総務産業建設常任委員会

ライドシェアについて

委員より、自治体ライドシェアについて学ぼうという声があがり、企画課より説明を受けました。

ライドシェアが普及し始めた要因は、二種免許ドライバーの不足、都市部でのオーバーツーリズム利用への対応、地方・過疎部における交通空白地の存在など、需要への対応や、これによる地域経済活性化の動きが出てきたことによるということでした。

公共ライドシェア（2号）とは、従来より運行されて



いる自家用有償旅客運送に該当するもので、コミュニティバスもこれに該当します。

日本版ライドシェア（3号）は、タクシー会社の許可の下で運行されるものとなっています。

新古座消防署庁舎建設事業について

令和6年6月定例会において議決された新古座消防署庁舎建設工事について、危険物倉庫の追加や傾斜訓練施設の仕様変更などの説明を受けました。この追加・変更は、緊急防災・減災事業債の対象事業となり、追加変更工事の増額分の30%となる1305万円が町の負担額となります。



委員会開催日と主な内容

- 9月2日
串本町特別職報酬等審議会の答申について
- 9月9日
決算審査特別委員会委員について
- 閉会中の継続調査申出事項について
- 11月21日
新古座消防署庁舎建設事業について
- ライドシェアについて
- 12月2日
閉会中の継続調査申出事項について

総務産業建設常任委員会の所管事項

- ・行政一般
- ・消防
- ・建設
- ・都市計画
- ・他の委員会に属しない事項
- ・財政
- ・防災
- ・水道
- ・産業経済

文教厚生常任委員会



古座学童保育施設



錦富学童保育施設



建設中の潮岬学童保育施設

町内学童保育施設の視察

令和6年11月5日に、町内の各学童保育施設を視察しました。

錦富学童保育施設（旧錦富小学校）と古座学童保育施設（旧上野山保育所）では、各学童における現状と課題について、お話を伺いました。錦富学童では、支援員のスキルアップ研修や、地域の方



串本学童保育施設



出雲学童保育施設

との交流、津波避難訓練などを行っているとのこと。建物が古いこともあり、工夫をしながら運営をされていました。古座学童では支援員の不足が課題となっているとのこと。それにより、潮岬と出雲学童では、長期休み中（夏休みなど）の対応が難しくなってきましたが、現在潮岬へ建設中の学童施設の完成後は一力所にまとまることにより、支援員不足等は解消されることでした。

委員会開催日と主な内容

- 9月9日
決算審査特別委員会委員について
- 閉会中の継続調査申出事項について
- 10月15日
学童保育施設視察について
- 11月26日
財産の取得の追認について（小学校指導書、マスク）
- 串本子ども医療費の支給に関する条例改正について
- 串本町脳ドック助成事業実施について
- 12月3日
閉会中の継続調査申出事項について

文教厚生常任委員会の所管事項

- ・教育一般
- ・社会福祉
- ・環境衛生
- ・介護保険
- ・国民健康保険
- ・病院に関する事項

一 般 質 問

第3回定例会（9月）及び第4回定例会（12月）に行った一般質問の内容をお届けします。

一般質問では、町が行う取り組み内容や問題点に関し、幅広く質問することができます。

傍聴人数

9月議会 **47** 人

12月議会 **32** 人

記事の内容は、質問議員の責任において、議員自身が作成したものです。



ページ	見 出 し	質問議員
11	古座のSora-Miru（ソラミル）を利用しやすい施設に望む	北 地 稔
12	防災の全般現状とペット同行避難について	長 脊 守
13	児童・生徒が安心・安全に楽しく学校生活を送るために	沼 谷 美 次
14	高齢化に伴う介護対策について	橋 爪 和 雄
15	地震と向き合って暮らす	仲 江 孝 丸
16	教員が教育課題に集中できる職場環境整備を	角 寛
17	町はイベントをやるというポジティブなマインドで	吉村 聡一郎
18	串本町を宇宙産業の集積地とする企業誘致	五十川 清紀
19	学校教育・福祉・都市計画への考え方を問う	芝 山 定 史
20	公益性の高い施設（火葬場）は町直営で	水 口 崇
21	町長は今までどのような財政改革をしたか	清水 健太郎
22	宇宙ふれあいホール「Sora-Miru」（ソラミル）の運用開始について	島 野 靖

各議員のページにある二次元コード（QRコード）を読み取ることで、その時の一般質問の動画映像を御視聴いただけます。



古座のSora-Miru(ソラミル)を利用しやすい施設に望む

町長 地域や観光客の憩いの場にしていく



北地 稔



9月議会

●9月議会

旧古座分庁舎Sora-Miru(ソラミル)の利用方法や活用について

質問 現在どのような施設が入っているのか。

答弁(企画課長) 一階がロケットミュージアム・図書コーナー・青少年センター・牟婁保護司会事務所・三十三銀行。

二階はサテライトオフィス4部屋(賃貸契約)・トレーニングルーム・和室(地元の会議室や避難所)。

三階は8Kシアター・



大会議室等です。

質問 Sora-Miruはいつからオープンするのか。

答弁(企画課長) カイロス2号機の打ち上げ後、8Kシアターで映像が写せるよう編集し、来年の4月頃にフルオープンという事になると思います。

質問 旧古座分庁舎Sora-Miruは大変有利な大型補助金を利用し立派な施設に生まれ変わったが、今後の利用方法や活用について。

答弁(町長) ロケット打ち上げが成功すると、Sora-Miruは関連施設として大きな目玉となる拠点の施設になります。一番の売りは複数の8Kカメラで撮影した臨場感あふれる打ち上げ時の映像を、大画面シアターで視聴できる魅力があります。

ロケットミュージアムや図書コーナーなど地域の皆さんや観光客の方々に多く足を運んで頂いて、皆さん方の憩いの場にして頂けたらと思います。



学童保育事業について

質問 夏休み等の長期保育プログラムについて、昔ながらの遊びなど教えてもらう地域のボランティア等の活用は考えてないか。

答弁(こども未来課長) 色々な工夫を凝らし長い時間を有効に使って外部の方であったり、特にボランティアで地域の方が来て頂いて、遊びや自由研究など一緒にして頂けたら、非常にありがたいので是非お願いしたい。

質問 教育委員会から出されている串本町子ども読書活動推進計画で、自動車文庫において学童保育所への出張や小学校の放課後の時間帯を意識して訪問するなど、貸し出し場所に学童保育所等を加えられないか。

答弁(教育次長) 学童保育所の子供達が本を借りたりできるように来年度に向けて検討します。

防災の全般現状と ペット同行避難について

総務課長 情報発信方法と避難方法を充実



長 脊 守



9月議会



12月議会

●9月議会
●12月議会

質問 南海トラフ地震臨時情報発表に伴う学校と避難所開設について尋ねる。

答弁（総務課長） 津波警報が発令された場合は、地域防災計画等で行動計画に基づいて対応。要支援者の方々を受け入れる態勢が課題である。

事前避難の周知については、国で南海トラフ地震の臨時情報に関するパンフレット作成しており、ホームページ等でダウン

ロード可能。

答弁（教育次長） 警戒が発表された場合は一週間休校と、令和2年11月の校長会で決定。

その後、令和6年9月の校長会で議題に上がり詳細を詰めることとなったが、学校によって立地条件が違うので今後の検討課題である。

質問 災害時ペットとの同行避難について尋ねる。

答弁（総務課長） 国のガイドラインでは、ペットの同行避難を推進しており、当町は避難所運営マニュアルを作成しており、原則としては居室スペースでペットと一緒に過ごすことは原則禁止。敷地内に余裕がある施設は、施設管理者と相談の上、決定。但し補助犬は、同行避難可能。



質問 学校とクラブ活動の暑さ対策について尋ねる。

答弁（教育次長） 串本町では、6月から9月の間はスポーツ大会は行っていない。小中学生を対象とした学校活動は、暑さ指数31以上は、ガイドラインにより原則運動中止。体育館の熱中症対策は、窓・扉を開けて、大きなサーキュレーターを各学校の体育館に備え、普通教室は、クーラーを準備。

質問 町内一斉の避難訓練と避難所運営について尋ねる。

答弁（総務課長） 11月の町内一斉の避難訓練は、人口の約10パーセントの1400人が参加。避難訓練の課題として訓練のマンネリ化と、実際に参加していただきたい避難行動要支援者の方が参加できる（玄関先避難訓練）など、参加者の意識、訓練の目的を設定が必要。参加率を高めるために訓練のやり方等を検討。

〔その他〕越波対策の現状について、避難所運営訓練（アクションカード使用）について、コミュニティバス関係の停留所への椅子について尋ねる。

児童・生徒が安心・安全に楽しく 学校生活を送るために

教育長 学校・家庭で連携を密にし、早期対応が大事



沼谷 美次



12月議会

● 12月議会

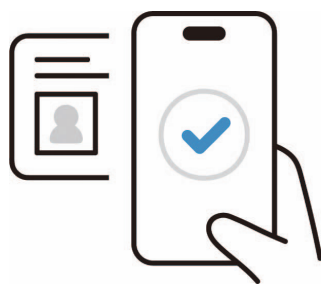
暴力行為について

質問 小中学校における暴力行為について、我が町ではどうか。

答弁（教育次長） 年によつてはあるか、ないか。あった場合は、担任教諭が中心となつて、保護者を含めて組織的に対応。

答弁（教育長） 子ども同士の関わりが少なくなり、非認知能力が昔

ほど培われていないと実感を感じ、その点を意識して接していくことが必要。



いじめ対策について

質問 スマホの取扱いについて、学校と家庭の連携と、アンケート調査は。

答弁（教育次長） アンケートは、全校児童・生徒を対象に、学期ごとに行っている。気になるような回答があつた場合、学校全体で情報を共有して早期に対応するように取り組んでいる。

答弁（教育長） 子ども同士の関わりが少なくなり、非認知能力が昔

た場合、学校全体で情報を共有して早期に対応するように取り組んでいる。

答弁（教育長） 子ども同士の関わりが少なくなり、非認知能力が昔

不登校について

質問 不登校の原因についての聞き取りで、学校と家庭の見方の違いが、学校側は児童・生徒本人が原因とする

見方が強く、保護者は、学校に原因があると。このような場合、教育委員会はどのように判断するのか。

答弁（教育長） 難しい。お互い情報交換しながら、本当に保護者の方と一緒に連携しながら取り組んでいくということが大事だと。今計画中であるが、訪問型家庭教育支援というのを、来年考えている。

見方が強く、保護者は、学校に原因があると。このような場合、教育委員会はどのように判断するのか。



高齢化に伴う 介護対策について

福祉課長 高齢者の住みやすい形を進めている



橋爪 和雄



12月議会

●12月議会

福祉対策の取組みについて

質問 高齢化に伴い、介護対策について。在宅寝

たきり老人対策について。

答弁（福祉課長）家庭介

護用品の支給、訪問理美

容サービス、お弁当配食

サービスなどで支えてい

る。寝たきり老人等扶養

手当を支給している。緊

急通報システムの利用に

より救急搬送され大事に

至らなかったこともある。

質問 研修受講料の補助

金の周知について。串本

古座高校生の介護の研修について。

答弁（福祉課長）広報等

で周知していきたい。初

任者研修を受けることに

よって資格を取得できる。

質問 日常生活用具の助

成について。

答弁（福祉課長）電磁調

理器・火災報知器・老人

用電話の利用実績がない

ため、今年度から事業廃

止になっている。

質問 廃止せず残してお

く必要がある。

答弁（町長）ご質問を頂

いたのを受けて、社会福

祉協議会の皆さん方にも

お話をさせていただいて

一度総点検をしたい。

〔その他〕福祉タクシー

券の発行について・介護

支援事業者の役割につい

て・地域福祉活動の取組

みについてを質問。

串本太地間道路の 関連事業について



20%勾配の擁壁

質問 古座駅周辺が凄く

変わった。岩渕踏切付近

の安全対策について。

町道から県道への接続

道路の20%勾配について。

答弁（建設課長）勾配の

関係、安全対策、県と協

議をしていきたい。

質問 高速道路先行取得

用地の管理について。

答弁（建設課長）国交省

で地元の方の迷惑になら

ないように対策をとって

いる。草刈り等の対策を

していく回答を頂いてい

水道事業の安心安全 な取組みについて

質問 全国の地域の水道

水に混入しているPFA

S（ピーファス）につい

て。

答弁（水道課長）有機フ

ッ素化合物である。人体

に影響を及ぼす可能性が

指摘されている。

質問 各地の河川や地下

水から国の基準値を超え

る場所が沢山見つかった。

全国で2割の検査しかさ

れていないという報道が

あった。串本町の対応状

況と検査状況について。

答弁（水道課長）令和3

年度より水質検査を年1

回行っている。県・国に

報告をしている。ほとん

ど影響を受けていない。

地震と向き合って暮らす

総務課長 巨大地震の発生頻度は極めて低いとされている



仲江 孝丸



9月議会



12月議会

●9月議会

質問 南海トラフ地震は

南海トラフで発生すると思っている人や、最大波が3分で来ると思い込んでいる人は、町民でも結構いる。地震を正しく恐れるために、正しい知識を身に付ける必要がある。

答弁（総務課長）連動型

地震は発生頻度は100年から150年。巨大地震の発生頻度は極めて低いとされている。

質問 8月8日気象庁は

南海トラフ地震臨時情報を発令した。串本町の対応はどうだったのか。

答弁（総務課長）臨時情報調査中が発表されたことを放送。災害対策連絡室を立ち上げた。職員40人が役場に待機。8月14日までは夜間は25人体制をして地震津波に備えた。



津波の痕跡 ヤッコカンザシの棲管

●12月議会

質問 マイナ保険証のデ

メリットは。

答弁（住民課長）メリットのほうが多いと考えている。

質問

デメリットを説明できないというのは、実態を見ていないということ。

政府の見解で「マイナ保険証を持つていない人への資格確認書は自治体の職権でできる」となっている。このことからすべての住民に資格確認書を送る自治体が出てきた。

答弁（住民課長）よその

市町村の状況を見ながら検討していきたい。

質問 本町は莫大な借金を抱えて大赤字だという

間違った宣伝がされている、起債は個人の借金と違うことを正しく住民に

啓発していく必要があると思う。

答弁（企画課長）交付税措置率の高い起債を中心

に借りている。起債のメリットは大型事業の実現。世代間の負担の公平性。地域経済への波及効果。

質問 SNSでの発信の中

でも偽情報を流すことは、虚偽事項公表罪になる。

答弁（総務課長）情報の

真偽について選管で判断するのは難しい。

質問 偽情報をシェアす

ると、自分が被害者であると同時に加害者にもなり得るため、慎重になる必要がある。

答弁（総務課長）政府も

法規制を含めた対応を検討している。国の動きを見て対応していきたい。

教員が教育課題に集中できる 職場環境整備を

教育長 職場感情アンケートを校長会へ紹介



角 寛



9月議会



12月議会

●9月議会
●12月議会

職場改善が先送りされ児童生徒の学びの保障に影響をあたえている現状を踏まえて

質問 定額働かせ放題と揶揄されている給特法の改正案とは。

答弁（教育次長） 調整額は歓迎するが、教員の増加、負担を減らすことになっていない。

質問 時間外在校時間と長期休暇取得状況は。

答弁（教育次長） 令和5

年度過労死ラインの月80時間以上が5名程度で小中教員135名が対象。精神疾患による休暇取得者は3年間で数名。時間外在校時間との相関関係は分からない。

質問 校務支援システムの活用状況は。

答弁（教育次長） 教員全員が指導要録作成などに活用。出退勤の管理を一元管理できるシステムを当初予算に繰り入れ予定。

質問 ある自治体が、午後4時30分一斉下校を実施している事を踏まえての方針は。

答弁（教育次長） 働き方改革基本方針を作成して12月の定例教育委員会へ上程する予定。

質問 学力テストの功罪とは（正答率の公表）。

答弁（教育長） 認知能力の一部分を調査するのが学習調査結果でそれがイ

コール学力という捉え方をされている。学力を一側面で見えていないところが問題と考えている。

質問 個別最適な学びを基本に学校に行かない子どもと同町教育支援センターの活用状況は。

答弁（教育次長） 令和5年度より学校に行けない児童生徒を対象に6名の実績があり。取り巻く環境により福祉的な支援、学校以外の関係機関、SCとSSWと連携して対応している。子供が休んだ場合は、担任、教頭が家庭訪問を実施、事情を把握している。

質問 同センターへの入室申請の簡略化は。

答弁（教育次長） 柔軟的な対応をしていきたい。

質問 Q・Uテスト（児童生徒の心理テスト）と類似している環境整備の第一歩として職場は感情

で変わる（笑顔がありイキイキ感情がある職場）のアンケート実施の考えは。

答弁（教育長） 4つの組織感情マップは、学校現場でも似通ったところがあり校長会で紹介できると考えている。

質問 自ら学ぶ力を育成するために全体授業の2割を児童が自ら考える授業に変更している斬新な教育ビジョンを遂行するには、保護者と関係機関などの理解が必要であるが先ず総合教育会議を活用し首長と情報交換を行ない指針など示して頂きたいが。

答弁 教育次長から1月頃に同会議を開催することを確認。

〔その他〕水道事業・保証料補助制度の現状と課題など質問。

町はイベントをやるという ポジティブなマインドで

町 長 若人が意見をぶつけてきてくれたら頼もしい



吉村聡一郎



9月議会



12月議会

● 9月議会

町ぐるみで取組む 観光施策について

質問

観光業について

は伸びしろがあり、この分野を伸ばすことで町に勢いがつく。

他県・他市町村から

『まねぶ』（まねをして学ぶの造語）為に執行部は積極的に視察に行くべき。



答弁

（副町長）観光の

担当は産業課です。視察に行けば学べるものもあると思います。例えば道の駅で地元物を売るのは大切だと思います。地元物を買っていけば地元にお金が回るということの循環もありますので、お金が回る様々な方法を職員と共に考えていきたい。

質問

橋杭・田原海水浴場で、芝生などの空き場所に海の家を常設できないのか。



答弁

（産業課長）現在

スポット的にはイベントは開催されています。国立公園の為、国・県との協議は必要ですが民間業者からあの場所を何かをしたいというような話が産業課に届いていません。夏の期間だけなどスポットで

も相談があれば協議をしていきたい。

質問

モンベルとの提

携強化を前へ進めませんか。

答弁

（産業課長）串本

は全国で5番目のモンベルフレンドタウンです。令和4年に1178万円、令和5年に916万円をふるさと納税して頂いています。

答弁

（副町長）折角モ

ンベルのフレンドタウンになってますので、ふるさと納税だけではなく、モンベルブランドを有効に活用して、どういうものがやっていけるか検討していきたい。

串本町を宇宙産業の集積地とする企業誘致

町 長 スペースワンと話しをさせていただき対応していきたい



五十川清紀



9月議会



12月議会

●9月議会

次の5項目を質問

- ① 串本町の宇宙産業の振興
- ② 古座地域、防災「避難所」が少ない
- ③ 介護関連、介護事業者へのサポート
- ④ 6次産業の促進、体制等の整備
- ⑤ 米騒動の問題

質問

町の人口減少が続く中、町はロケット打上げによる経済効果、また、税収のアップを求め、企業誘致策が必要である。串本町を宇宙産業の集積地とするために、串本イ

コール宇宙といった結び付け（PR）や用地確保等、何が必要なのか整理を。

答弁（産業課長）

企業誘致は県企業立地課と連携し、事案について協議しながら進めている。個別案件は、企業から来ていただき話が合ったところは、町長に出向いてもらう案件もある。

質問

ロケット事業は串本町の将来の明暗がかかった重要なプロジェクトである。

ロケットの経済効果について。

答弁（企画課長）

経済波及効果として、当初は670億円、直近の調査では、全国で年間30機上げたとして、約3700億円の効果があるといわれている。一回の打上げで、和歌山県下全体で12億円、これも、串本町と那智勝浦町を合わせると

●12月議会

次の3項目を質問

- ① サンゴ台付近工事計画の進捗等
- ② 防災関連、分散備蓄
- ③ 企業誘致等

質問

串本インターチェンジ周辺活性化施設整備に関する官民連携事業の実施方針（案）が出された。すさみ串本道路は2年間の延長か。

答弁（建設課長）

トンネル工事16箇所のうち残り1箇所（問題箇所）。安指川橋基礎工事における硬質岩の出現、すさみ町里野地区で地盤ひび割れ等。

質問

官民連携実施案でA公園整備、B火葬場建設、C道の駅整備、D住宅地整備を民間事業者の企画力、整備力、資金調達力等活用し、良質な公共サービスの提供と基盤整備を行うとのことだが、地元業者活用の考えは。

串本町の将来の財政負担の効率化を目的としてとなっているが、内容が分かりにくい。

答弁（建設課長）

地元業者さんの活用も検討中。財政的な面については、試算して、3月頃に案が提示できると思う。

〔その他〕道の駅に農林水産業の支援、復活策として地元産品直営場所の新設（誰でも自分の産品を直販できる）。サテライト的な役割が大きいことから、串本観光協会をこの場所に移設すべきと思うので検討願う。

学校教育・福祉・都市計画への 考え方を問う

町 長 串本の将来発展の為に取組む



芝山 定史



9月議会



12月議会

●9月議会

串本の歴史からの道徳
教育を問う（エルトゥ
ール号遭難事件）

質問 エルトゥール号

遭難事件の史実からこども達への道徳教育を実施しては。

答弁（教育長） 現在教育

において特別の教科である道徳科を実施している。

エルトゥール号遭難事件も含めて、非認知能力

（社会生活等に影響を及ぼす力）思いやりのある

こども達に育つように、現場（学校）共に、取組

んでいきたい。

串本の将来像を問う

質問 スペースポート紀

伊（地の利）を活かした政策を。

答弁（企画課長） スペー

スポーツ紀伊に当串本を決定して頂いたのは、千

載一遇のチャンス、この好機を町の発展に生かせ

よう努力して取組んでいく。

質問 串本の将来を考え

ていく上で、戦略と戦術の違いを明確に。

答弁（町長） 戦略は目標

であり、戦術はその目標を達成する為の方法です。

戦略を計画するにしろ、戦術を立てるにしろ、議

会と両輪で進めていく。

福祉社会の現状と

改善点について

質問 福祉社会現在の制

度を続ければ破綻するの

では。

答弁（福祉課長） 介護報

酬や、介護事業所など高

齢者福祉の部分について、社会的な課題がある。国

や県と連携しながら一つ一つ取組んでいきたい。

●12月議会

高台の利用について

質問 現状串本町では

高台が不足している。（串本町の地形から）串

本町では、安価に高台を求めていく必要があるのでは。

答弁（建設課長） 高速道

路等国や県の工事を行う時には、埋立て等それによ

って土地が求められな

いか都度都度要望を行っ

ている。

質問 町全体高台の調査

把握が必要では。

答弁（建設課長） 庁舎全

課で取組む必要であると考えている。

質問 サンゴ台と潮岬の連結（橋）を含め、町全

体の高台を連携する必要

があると思うが、考え方を問う。

答弁（建設課長） 膨大な費用がかかる事ではある

が、考えていきたい。

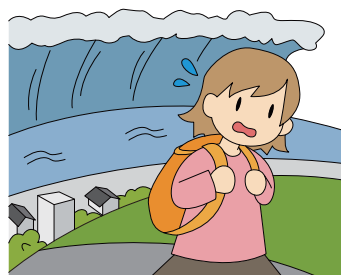
質問 現在高速道路工事

のための作業用道路を譲り受ける考えは。

答弁（町長） 町への必要性を考慮し、必要と判断

したならば国と交渉して

いきたい。



公益性の高い施設（火葬場）は町直営で

建設課長 官民連携で管理運営を検討していく



水口 崇



9月議会



12月議会

●9月議会
●12月議会

PPP・PFI（民間資金活用事業）

質問 火葬場等に外国資本等が参入してトラブルが多発している。公益性

・地域の風習・倫理観等、施設の持つ使命から最後のお見送りの火葬場は町直営にすべきである。

答弁（建設課長） 官民連携で検討していく。

自治会（区）の保持

質問 人口減で区の財政が厳しく区長手当の減額

で対応。区長は町からの受託事務も多く業務も増えている。町長・町議の手当を上げるより、区長手当の一定額の補填をすべきである。区への補助金を区長の手当に充てるのはおかしい。

今後、区長を引き受ける方がいなくなる。

答弁（総務課長） 町から区長報酬を支払いついているところもあるが、串本町は、区に補助金を出している。

教育現場

質問 和歌山県はニート率（15歳～24歳の若年無業者率）全国2位（串本町も高い）キャリア教育は重要である。若者の勤

労意欲、貧困対策の為に、正しい生きる力を付ける。串本古座高校のロケットコースより南部高校の調

理コースのほうが現実的。答弁（教育長） キャリア教育は大切である。

経済対策（チャンス）を最大限に活かす

質問 和歌山県は公共投資比率全国2位（串本町は1位）本来なら高速道路バブルが起こっているはずである。すさみ町長は商工会名簿をもって工事関係者に地元での物品購入をお願いをして回った。

串本では物品の調達は町外からでは、チャンスを活かしていない。みんなの高速道路等の組織もある、工事関係者に地元での物品購入の声掛けをすべきである。本来なら議会も高速道路特別委員会設置すべきだと議長に提案したが未設置。大変残念である。

まだチャンスは残っている（串本～太地）

答弁（町長） 前向きに取り組んでいきたい。



一人でも操作できます井戸から小型エンジンポンプで消火訓練。

震災時の同時多発の火災対策

質問 能登地震では、消防も消防団も来られない、消火栓も使えなかった。まる焼けを見とくしかなかった。各自主防災に小型エンジンポンプを配置しては。東京都は、各自主防に貸与。

答弁（消防長） 有用である。危険性を理解して導入していただく。

町長は今までどのような財政改革をしたか

町 長 台所事情を見ながら、色々と物を建設してきた



清水健太郎



9月議会



12月議会

質問 串本町の最大の問題は。

答弁（町長） 人口減少。ハローワークに仕事はあるが地元の方が希望する職種がない。

質問 どうして串本町がここまで衰退したかと言
うと、家庭を持って安定して稼げる産業がない。
岸谷町長の時は養殖産業に力を入れ、町が大きく潤った。町長は6期24年でどのような経済対策をしたか。

答弁（町長） 防災対策で公共施設を高台に上げた。

これも経済対策。観光業。ロケット。

質問 結果が伴っていない。消滅可能性都市が古座川町を抜いて東牟婁郡で1位、子供は37人しか生まれず。防災でも黒潮町は浸水地域の世帯毎に避難カナルテを作って、全員がどうやって逃げるか計画している。住宅耐震改修は黒潮町は10年で1400件、串本町は20件。住民の命を救う対策は進んでない。

答弁（町長） ロケットは串本町として、どう町の経済発展に結びつけるか、早くから取り組まなければ、せっかくのロケットが一過性のイベントに終わる。
答弁（町長） ロケット工場や企業を誘致する。

質問 町長は今までどのような財政改革をしたか。

答弁（町長） 台所事情を見ながら、色々と物を建設し、町を作り上げてきた。これが最大の町長の仕事。

答弁（企画課長） 平成19年将来負担比率は100%超え。大型事業ばかりと言われながらも70%台で増えていない。令和5年度は40%台、統合小学校があるんでまた上がるが。

質問 古座川町なんかプラス22億円。串本町だけずっとマイナス30、40億



円。これがちょっと良くなる。とまた何か建てて、また下がる。

ずっと低空飛行。住民サービスを削りながら莫大な借金を支払っている。

答弁（町長） これだけ説明しても分かりませんか。

質問 くしもとこども園、統合小学校は全国平均の2倍以上の大きさ。大きな建物より教育へ力を入れるべき。

答弁（町長） これから力を入れる。

質問 施設にばかり力を入れて、教育へ使うお金は減らされる。これが本当に町民が望んだことか。

答弁（町長） もっと議員は理解力があると私は買っていたが何とも理解力がない。

宇宙ふれあいホール「Sora-Miru」(ソラミル)の運用開始について

企画課長 4月1日はもう必須と考えている



島野 靖



12月議会

●12月議会

質問 宇宙ふれあいホール「Sora-Miru」

の運用開始が遅くなった原因は。

答弁 (企画課長) 当初、

8月にオープン予定であった。スペースワンの打上げの模様を8Kシアターで映すというのが「Sora-Miru」の目玉となっていたが、思ったような映像が撮れていないため。

質問

12月14日午前11時



に発射するということが、何らかのトラブルが発生し、長期の延期になった場合、万が一失敗した場合でも、運営を開始するのか。

答弁 (企画課長) 4月1

日は、もう、必須ということ考えている。

質問

スペースワン社は民間の会社である。町と

してサポートをして、協力してメリットを得ることは大事だが、負担も生じることになる。お互いウィンウィンの関係を作ることが大事と思うが。

答弁 (企画課長) 毎年、

予算計上するわけにいかない。スペースワン社と協議をして、町の負担ができるだけないような形で解決策を考えてまいりたい。

質問

今後の、打上げの時の公式見学場も、荒船海岸を考えているのか。

答弁 (企画課長) 先だっ

て、運営に当たる職員の説明会があった。それぞれが写真を撮ったり、ムービーを撮ったりして、

見え方や人の流れを見た中で、公式見学場をどのようにしていくのか、どの場所に選定するのか、荒船のままなら、どういう運営が一番良いのかを検証してまいりたいと考えている。

質問

海上の利用、遊覧船を運営している会社の誘致について。

答弁 (企画課長) 担当課

長としては、夢は大きく、例えば「飛鳥Ⅱ」に千人、二千人乗って見に来ていただく。串本町内に降りていただいて、町にお金を落としていただくなんて、非常に魅力があると思うが、それはまだ先の話かなと考えている。

令和6年度 東牟婁郡町村議会議長会 全議員研修会

令和6年10月21日(月)

「議員のコンプライアンス研修」として、議会内外における議員としてのコンプライアンスについて、ハラスメントや、現在問題となっているSNSでのトラブルなどを様々な事例を基にした研修を受けました。



参加したその他の研修

令和6年10月11日(金) 和歌山県町村議会議長会 新議員研修会

令和6年10月24日(木) 委員長・副委員長研修会

※10月29日に予定されていましたが、南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会の研修については、天候不良のため中止となりました。

お知らせ

6ページ

主な歳入

■国庫支出金	定額減税調整給付分	…………	1億1,029万円
	新型コロナウイルスワクチン等		
	生産体制整備臨時給付金	…………	3,657万円

議会だより第41号におきまして、記事の一部に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

9ページ

主な歳出

■民生費	物価高騰対応重点支援給付金		
	支援事業(定額減税調整給付)	…	1億1,029万円

健康イベント
「夜のヨガ教室」を
体験してきました

夜のヨガ教室見出し

くろしお塾記事

7ページ

出納閉鎖期間(5月末)経過による令和5年度の見込み

・町債残高(借入金)	152億8,894万円	前年比	98.9%
・公債費(返済額)	13億9,337万円	前年比	95.1%

議会の動き

《本会議》

9月 9日～ 9月26日 第3回定例会
12月 2日～ 12月13日 第4回定例会

《委員会》

【常任委員会】

●総務産業建設常任委員会

9月2日・9月9日・11月21日・
12月2日

●文教厚生常任委員会

8月27日・9月 9日・10月15日・
11月 5日・11月26日・12月 3日

【議会運営委員会】

9月 3日・9月24日・9月26日・
10月28日・11月26日・12月11日・
12月19日

【特別委員会】

●決算審査特別委員会

9月10日・9月19日・10月 7日・
10月 8日・10月 9日・10月15日

●議会広報広聴特別委員会

8月7日・9月10日・12月13日

【研修会等】

8月 6日 県町村議会議長会全議員研修会
8月29日 タブレット端末操作研修会
10月11日 新議員研修会
10月21日 東牟婁郡町村議会議長会全議員研修会
10月24日 委員長・副委員長研修会

議長 公務日誌 (令和6年8月～令和7年1月 主なもの)

- | | |
|-----|---|
| 8月 | 3日 串本まつり町民総おどり出発式（串本町文化センター）
6日 令和6年度和歌山県町村議会全議員研修会（上富田町）
21日 和歌山県町村議会議長会県への要望活動（県庁）
25日 宇宙シンポジウムin串本（メルキュール和歌山串本）
26日 令和6年度東牟婁郡町村新宮市老人福祉施設事務組合第2回定例会（新宮市）
29日 タブレット操作体験会（串本町役場） |
| 9月 | 16日 エルトゥールル号追悼式典（樫野崎 エルトゥールル号慰霊碑前） |
| 10月 | 16日 令和6年度第2回串本古座高等学校地域協議会（串本町役場）
23日 海南市議会視察受入
27日 第20回串本町町民大運動会（串本町総合運動公園） |
| 11月 | 7日 新潟市議会視察受入
9日 古座地区戦没者慰霊祭（善照寺）
12日 第68回町村議会議長全国大会（東京都）
13日 //
14日 //
20日 串本町まち・ひと・しごと創生推進会議（串本町役場）
30日 第25回本州最南端串本グランド・ゴルフ交歓大会（串本町総合運動公園） |
| 12月 | 18日 民間小型ロケット カイロス2号機打ち上げ |
| 1月 | 28日 和歌山県町村議会議長会臨時総会（和歌山市）
29日 // |



今回の第42号をもちまして、この委員会メンバーによる最後の議会だよりとなります。4月の選挙後には、新たなメンバーにより第43号が作成されます。
ありがとうございました。

編集
後記

